

837号

〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2
 日港福会館 5階
 Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
 メール rouren@kensu.jp
 ホームページ http://www.kensu.jp/
 全国検数労働組合連合
 書記局



6月4日(木) 第1回検数労連26夏季一時金交渉10:00~10:30 26夏季一時金交渉スタート!

くらしを守る一時金を! 要求実現へ団結しよう!

2026年夏季一時金要求書(要旨)

2026年夏季一時金および諸労働条件の改善について、下記の通り要求いたします。

記

1. 夏季一時金について

(1) 要求方式と要求額について

① 全日検

職員A

(本給+家族手当) × 3.50ヶ月+一律10万円+都市加算とすること

職員B

(本給+地域年齢手当) × 3.50ヶ月+一律10万円+都市加算とすること。

② 日検

(本給+家族手当) × 3.50ヶ月+一律10万円+都市加算とすること

③ 都市加算の支給区分と金額については、別表の通りとすること。

④ 職員以外の従業員は、職員に準じて支給とすること。

(2) 支給条件について

① 長期病欠者に対して、各々の支給基準の70%を支給とすること。

② 通勤災害による休業者についても労災休業者と同一取り扱いとすること。

③ 一切の協会査定(特別評価)は行わないこと。

④ 転勤者の取り扱いについては、計算期間中のそれぞれの所属地の地域区分に基づく日割計算、または6月1日現在所属地の地区区分のいずれか有利な方を適用とすること。

(3) 支給日について

2026年7月10日(金)とすること。

2. 諸要求について

厚生年金保険料の労使負担割合の改善をはかること。

以上

【組合主張】

要求書提出にあたり組合は、28日・29日の検数労連代表者会議で26夏季一時金要求を討議し確認した。代表者会議のなかでは、

【第1回交渉】
 6月4日(木) 検数労連第1回26夏季一時金交渉で、組合は先日開催された検数労連代表者会議で確認した要求書を提出し、有額回答指定日までに組合要求に沿った回答を構築するよう求めました。

両協会の料金収受に向けた取り組みが順調に進んでいることから、組合要求に沿った回答を構築することは可能であるとの認識のもと、要求を確立した。この間、中東情勢などの影響もあり先行き不安があるなかではあるが、諸物価高騰の影響は私たちの生活を直撃しており、春闘での賃上げ分だけでは補填しきれないのが現状である。そのような地域の切実な声を加味した内容となっており、本日の交渉をかわりに約1ヶ月にわたる交

渉のなかで組合要求に沿った回答の構築を求める。また、一時金要求書では両協会でも働く中間世代を重視していることから乗率3.50ヶ月を重要視している。一方で、両協会ともに若手の離職者が増えている実態も踏まえ、一律での回答も一定考慮する必要がある。また、従来から回答算式に組み込まれている全日検の調整加算、日検協会の業績加算については、不公平感が否めず、全ての地域から反対意見が出されている。



このような実態を踏まえ、各支部での業績格差の無い職場の思いを汲み取った回答の構築を求める。

次回交渉:6月9日(火)10:00~

第2回 検数労連26夏季一時金交渉

一時金対象者の平均勤続や平均年齢を明記した基礎数字の提示を求めています。